

## 第2次草津市協働のまちづくり推進計画策定のポイント

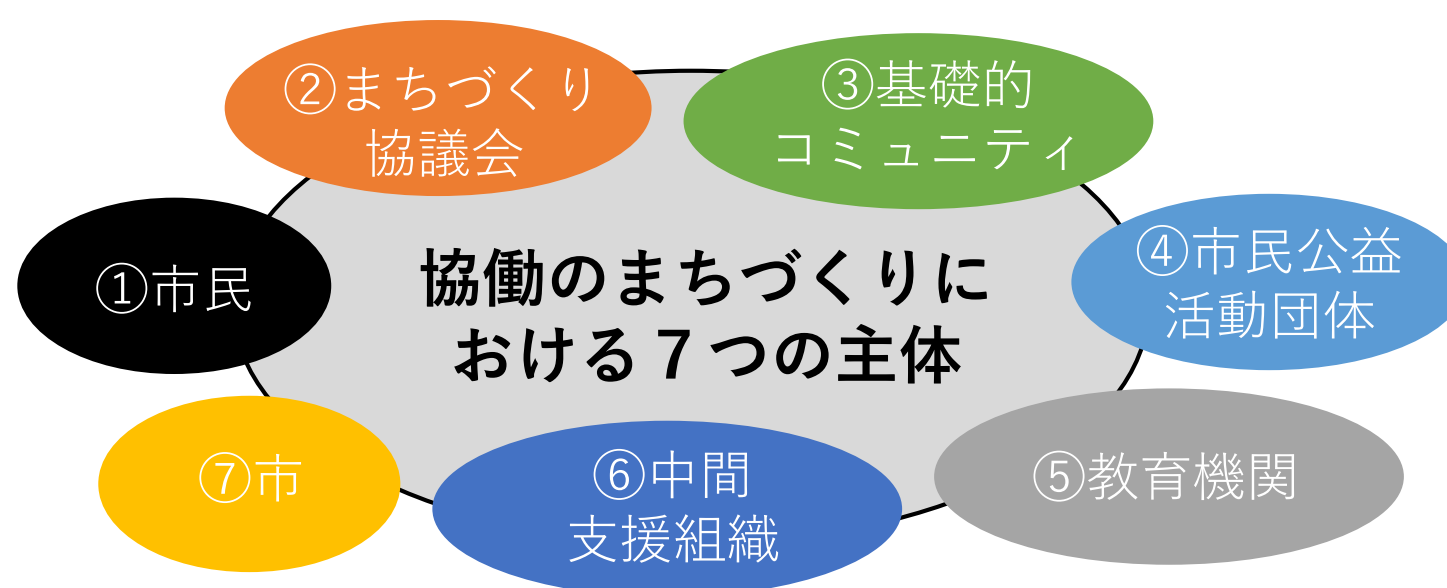
## 資料1

現計画・・・各種制度の設計・助成金等の支援による必要な環境整備や支援体制の強化

第2次計画・・・協働のまちづくりにおける各主体の意識の転換等、質的な変化  
※計画の基本方針、理念を引き継ぎ、各主体の取組みを深化を求める

☆「学ぶ」「見える」「つながる」をポイントに協働のまちづくりを展開。

☆今後の新たな施策の5項目を追記。（さらなる充実のために！）



### 今後のまちづくりの展開

#### ①学ぶ

地域課題を解決するためには多くの知恵が必要→一人ひとりの学び  
自己実現のための学び・自己研鑽の学び、趣味の学び等

#### ②見える

地域にある課題の可視化や、課題解決につながる取組や施策を可視化  
→似た悩みを持った人や、課題解決のために関われる人が出会う

#### ③つながる

市民一人ひとりの学びを通して多様な人が関わり合う  
様々な制度や組織が効果的に活用されるよう見える化する



### さらなる充実のために！

①まちづくりの拠点となる（仮称）市民総合交流センターの設置・運用

②課題を共有し、つながる（仮称）お互いさまプロジェクト

③専門性を活かしてまちづくりを担う市民公益活動団体の支援

④協働のまちづくりを推進するための人材育成の充実

⑤協働意識の醸成と組織体制の充実